

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公表番号】特表 2018-514699 (P2018-514699A)

【公表日】平成 30 年 6 月 7 日 (2018.6.7)

【年通号数】公開・登録公報 2018-021

【出願番号】特願 2017-559831 (P2017-559831)

【国際特許分類】

F 0 4 D 29/44 (2006.01)

F 0 4 D 29/66 (2006.01)

【F I】

F 0 4 D 29/44 S

F 0 4 D 29/66 J

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 17 日 (2019.7.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンプレッサホイール用の収容領域の下流側に配置されたラジアルコンプレッサのディフューザ用のガイドベーン (10) であって、

全体が楕円形に形成されているキャンパーライン (X) を備え、  
前記ガイドベーン (10) の翼弦 (C) の中心点 (S) からの前記楕円の中心点 (M) の距離は、翼弦方向に関して最大で前記翼弦 (C) の長さ (I<sub>b</sub>) の半分であることを特徴とする、ガイドベーン。

【請求項 2】

前記ガイドベーン (10) の翼入口部及び翼出口部は、前記ガイドベーン (10) の前記翼弦 (C) を画定して共通の直線と交差することを特徴とする、請求項 1 記載のガイドベーン。

【請求項 3】

前記ガイドベーン (10) の前記翼弦 (C) に対する前記楕円の交差角は、それぞれ 45°未満であり、かつ合計で 80°未満であることを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 記載のガイドベーン。

【請求項 4】

特に内燃機関の排気ガスターボチャージャ用のラジアルコンプレッサであって、  
前記ラジアルコンプレッサのコンプレッサホイール用の収容領域と、  
前記収容領域の下流側に配置されたディフューザと、  
前記ディフューザにおいて請求項 1～請求項 3 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つのガイドベーン (10) と  
を備える、ラジアルコンプレッサ。

【請求項 5】

内燃機関用、特に、請求項 4 記載のラジアルコンプレッサを備える自動車の内燃機関用の排気ガスターボチャージャ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 2 】

キャンパーライン X は、楕円形に形成されているため、以下で楕円とも呼ばれる。その楕円は、翼弦 C に対してちょうど 2 つの交差角を有し、ガイドペーン 1 0 の翼弦 C との楕円の交差角は、それぞれ、すなわち個々に見ると  $45^\circ$  未満であり、かつ、一緒では、すなわち合計では常に  $80^\circ$  未満である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 4

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 4 】

更に、ガイドペーン 1 0 は、最大厚  $d_b$  及びいわゆる最大厚位置  $f_b$  を有する。翼弦 C の長さは、更に  $I_b$  と表示されている。更に、楕円の中心点 M がガイドペーン 1 0 の翼弦 方向に関して翼弦 C の中心点 S から翼弦 C の長さ  $I_b$  の半分を越えずに離れているとき、特に有利であることが明らかである。